

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公表番号】特表2008-504984(P2008-504984A)

【公表日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2007-519249(P2007-519249)

【国際特許分類】

B 41 M 5/00 (2006.01)

B 41 M 5/50 (2006.01)

B 41 M 5/52 (2006.01)

B 41 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 41 M 5/00 B

B 41 M 5/00 A

B 41 J 3/04 101Y

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月27日(2008.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

反応性の官能基を有する熱可塑性の重合体を含む可融性の重合体の粒子を含む可融性の上部の層を有する支持体を含むインクジェット記録素子であって、

該上部の層は、溶融にさらされるとき、該熱可塑性の重合体における該反応性の官能基を架橋させることができ相補的な反応性の官能基を有する多官能性の化合物をさらに含む、素子。

【請求項2】

前記上部の層における前記可融性の重合体の粒子における前記熱可塑性の重合体は、オキサゾリン、エポキシ、酸、酸無水物、アセトアセトキシ、第一級の又は第二級のアミン、ヒドロキシル、フェノール、チオール、及び、イソシアナートの官能性からなる群より選択された反応性の官能性を有する単量体の単位を含むと共に、前記多官能性の化合物は、相補的な反応性の官能性を有すると共に、該相補的な反応性の官能性は、同じ群より選択される、請求項1に記載の素子。

【請求項3】

A) ディジタルデータの信号に応答するインクジェットプリンターを提供する；
 B) 該プリンターに請求項1に記載のインクジェット記録素子を装填する；
 C) 該プリンターにインクジェットのインク組成物を装填する；
 C) 該ディジタルデータの信号に応答して該インクジェットのインク組成物を使用して該インクジェット記録素子に印刷する；及び
 D) 少なくとも該可融性の多孔性の上部の層を、該層が非多孔性のものであるように、溶融する：
 のステップを含む、インクジェット印刷方法。